

勘定奉行に仕訳伝票を連動する方法について

この資料は、以下の製品について記述したものです。

- ・商蔵奉行 i シリーズ
- ・商蔵奉行 V ERP
- ・商蔵奉行 J シリーズ / 奉行 J - 販売・仕入編

内容

本資料では、『商蔵奉行シリーズ』で作成した伝票データ(売上傳票・入金伝票・仕入伝票・支払伝票)を『勘定奉行シリーズ』に連動し、仕訳伝票を登録する方法をご案内します。

- ※ 本手順書の画面イメージは『商蔵奉行 i 10シリーズ』のもので、画面イメージは、ご利用の製品・バージョンにより異なる場合があります。また、商奉行または蔵奉行を単体でご利用されている場合も、表示される項目名などが本資料と異なる場合がありますので、ご了承ください。

目次

以下のページで、事前準備から、連動方法などの処理の流れを記載しています。

(◆をクリックすると該当ページにジャンプします。)

【事前準備】

- ◆ 連動方法や連動するマスターの種類などを設定する (2ページ)
- ◆ 作成する仕訳伝票の勘定科目コードなどを設定する (7ページ)

【連動方法】

- ◆ 『勘定奉行シリーズ』と連動する仕訳伝票を作成する (10ページ)
- ◆ 仕訳伝票ファイルの受け入れ方法 ※ファイル連動の場合 (11ページ)

【連動後の確認方法】

- ◆ 連動した仕訳伝票の確認方法 (12ページ)

【トラブルシューティング】

- ◆ よくあるお問い合わせ (13ページ)

操作の詳細につきましては、該当のページをご参照ください。

連動方法や連動するマスターの種類などを設定する

- ① [随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニューを選択します。
- ② [基本設定]ページで、連動方法などを設定します。

②-1 連動対象製品

連動する製品を、『勘定奉行』・『勘定奉行[建設業編]』・『勘定奉行[個別原価管理編]』・『奉行J-会計編-』のいずれかから選択します。
 ※ 『奉行J-会計編-』は、『商蔵奉行 i 8/V ERP8シリーズ』または『奉行J-販売・仕入編-』をご利用の場合に選択できます。

②-2 連動方法

以下の2つから、連動方法を選択します。

●ファイル連動

⇒『勘定奉行シリーズ』に連動する仕訳伝票のファイルを作成します。
 別途、『勘定奉行シリーズ』側で、ファイルを受け入れます。

●直接連動

⇒直接、『勘定奉行シリーズ』に仕訳伝票を登録します。

参考

連動する製品によって、一部制限があります。
 詳細は、以下の表をご確認ください。

(○:ファイル連動・直接連動ともに可能 △:ファイル連動のみ可能)

商蔵奉行	勘定奉行	奉行 11 シリーズ	奉行 10 シリーズ	奉行 8 シリーズ	奉行 J-会計編-
奉行 11 シリーズ	○	△	△	△	△
奉行 10 シリーズ	△	○	△	△	△
奉行 8 シリーズ	△	△	△	○	○
奉行 J-販売・仕入編-	△	△	△	○	○

※ 上記の『勘定奉行シリーズ』には、『勘定奉行[建設業編]』、
 『勘定奉行[個別原価管理編]』を含みます。

※ 両奉行がスタンドアロン版の場合は、同一PCにセットアップされている場合のみ、
 直接連動が可能です。

②-3 連動先情報

[会社変更]ボタンをクリックし、連動先の『勘定奉行シリーズ』のデータ領域を設定します。

参考

「連動方法」が「直接連動」の場合には、ここで設定された『勘定奉行シリーズ』の
 データ領域に仕訳伝票が作成されます。

また、「連動方法」の設定にかかわらず、7～9ページの「作成する仕訳伝票の
 勘定科目コードなどを設定する」で、勘定科目コードを検索することもできますので、
 連動先のデータ領域を設定しておくことをおすすめします。

③ [マスター設定]ページで、仕訳伝票で使用するマスターを設定します。

仕訳連動初期設定		
基本設定 マスター設定 伝票設定 (販売) 伝票設定 (仕入) 運用設定		
【仕訳伝票上のマスター】		
使用	使用する	対象マスター
部門	使用する	部門
取引先	使用する	請求先/支払先
【未設定の仕訳コード】		
部門	伝票上の部門コードを使用する	
請求先/支払先	伝票上の請求先/支払先コードを使用する	

③-1 【仕訳伝票上のマスター】

作成する仕訳伝票に、マスターのデータを含めるかを設定します。

「使用する」を選択した場合は、[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳コード設定]メニューで、商蔵奉行のマスターコードと、勘定奉行のマスターコードを関連付けます。

参考

上の画面イメージでは、【仕訳伝票上のマスター】に「部門」と「取引先」が表示されていますが、[基本設定]ページで設定する連動対象製品や連動先データ領域によっては、「セグメント1」・「セグメント2」・「プロジェクト」・「工事」を仕訳伝票上のマスターに使用することができます。各マスターを仕訳伝票で使用できる条件の詳細については、操作説明に記載がございますので、[マスター設定]ページを開いている状態でF1[操作説明]キーを押して、内容をご確認ください。



「取引先」は、[基本設定]ページで設定した連動対象製品が『奉行]-会計編-』の場合、または連動先のデータ領域に「取引先」が登録されていない場合は、表示されません。

③-2 【未設定の仕訳コード】

商蔵奉行のマスターコードと勘定奉行のマスターコードが関連付けされていない場合に、作成される仕訳伝票のマスターをどのように登録するかを設定します。

※ 【仕訳伝票上のマスター】の各マスターが「使用しない」の場合は、表示されません。

④ [伝票設定(販売)]ページで、売上傳票・入金伝票の仕訳を作成する単位などを設定します。

仕訳連動初期設定

基本設定 マスター設定 **伝票設定(販売)** 伝票設定(仕入) 運用設定

【仕訳伝票作成方法】	売上傳票	入金伝票
作成単位	集計期間で作成する	明細単位で作成する
部門別の仕訳伝票	分割しない	分割しない
F B入金作成伝票の仕訳伝票		作成しない
電子記録債権作成伝票の仕訳伝票		作成しない

④-1

【仕訳伝票基本情報】	売上傳票	入金伝票
仕訳伝票区分	使用しない	使用しない
仕訳伝票No.指定	会計システムの設定にしたがう	会計システムの設定にしたがう

【仕訳伝票明細情報】	売上傳票	入金伝票
マイナス金額の明細	マイナス金額で作成する	反対仕訳を作成する
消費税金額の計上	同一明細として計上する	自動計算する
摘要の内容	仕訳伝票作成情報(システム自動)	請求先略称

④-2

【仕訳伝票科目】	売上傳票/入金伝票
請求先別の科目	請求先ごとに異なる科目を使用する
信販会社別の科目	すべての信販会社で同一の科目を使用する
商品区分別の科目	すべての商品区分で同一の科目を使用する
請求先別商品区分別の科目	
設定対象の商品区分	
商品別の科目	すべての商品で同一の科目を使用する
請求先別商品別の科目	
B/S科目の部門	売上傳票/入金伝票上の部門を使用する
B/S科目の取引先	売上傳票/入金伝票上の請求先を使用する
税額通知別/課税区分別の税区分	売上傳票上の申告書計算区分から自動判定する
商品別の税区分	売上傳票上の申告書計算区分から自動判定する
入金伝票の税区分	入金伝票上の申告書計算区分から自動判定する

④-3



「FB入金作成伝票の仕訳伝票」項目は、『商奉行 i シリーズ スタンドアロン版 Bシステム』または『商奉行 J シリーズ/奉行 J -販売編-』をご利用の場合は表示されません。

④-1 【仕訳伝票作成方法】

「作成単位」項目で、仕訳伝票を作成する単位を以下の4つから選択します。

- 明細単位で作成する
- 伝票単位で作成する
- 日付単位で作成する
- 集計期間で作成する

④-2 【仕訳伝票明細情報】

マイナス金額がある場合の仕訳作成方法や、消費税金額の計上方法を設定します。

参考

消費税金額の計上方法の詳細については、操作説明に記載されています。
 [伝票設定(販売)]ページを開いている状態で
 F1[操作説明]キーを押して[操作説明]画面を開き、
 売上傳票については「売上傳票の消費税金額の計上方法」を、
 入金伝票については「入金伝票の消費税自動計算」をご確認ください。

【仕訳伝票明細情報】	
マイナス金額の明細	
マイナス金額がある場合に、反対仕訳を作成するかマイナス金額の仕訳を作成するかを設定します。	
消費税金額の計上 - 売上伝票	
消費税の計上方法を設定します。	
別明細として計上する 仕訳伝票では、売上金額と消費税額に分けて計上されます。 1：2の仕訳になります。	
同一明細として計上する 仕訳伝票では、売上高と同じ科目に消費税が計上されます。 売上金額が税込みの場合は内税として、税抜きの場合は外税として計上されます。	
<div style="text-align: center;"> 詳細 </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px; display: inline-block;">売上伝票の消費税金額の計上方法</div>	
消費税金額の計上 - 入金伝票	
仕訳コードの総勘定科目が課税科目の場合に、値引き明細の消費税(内税)を自動計算するかを設定します。	
<div style="text-align: center;"> 詳細 </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px; display: inline-block;">入金伝票の消費税自動計算</div>	
摘要の内容	
作成する仕訳伝票の摘要を設定します。	

④-3 【仕訳伝票科目】

仕訳伝票の科目をどのマスター別に関連付けするかを設定します。

たとえば、請求先ごとに勘定科目を設定したい場合は、「請求先別の科目」を「請求先ごとに異なる科目を使用する」に設定します。

【仕訳伝票科目】	売上伝票/入金伝票
請求先別の科目	請求先ごとに異なる科目を使用する
信販会社別の科目	すべての信販会社で同一の科目を使用する
商品区分別の科目	すべての商品区分で同一の科目を使用する
請求先別商品区分別の科目	
設定対象の商品区分	
商品別の科目	すべての商品で同一の科目を使用する
請求先別商品別の科目	

また、請求先ごと、かつ商品区分ごとに勘定科目を設定したい場合は、

「商品区分別の科目」を「商品区分ごとに異なる科目を使用する」、

「請求先別商品区分別の科目」を「請求先・商品区分ごとに異なる科目を使用する」に

設定します。また、「設定対象の商品区分」で、科目を設定する商品区分を選択します。

【仕訳伝票科目】	売上伝票/入金伝票
請求先別の科目	すべての請求先で同一の科目を使用する
信販会社別の科目	すべての信販会社で同一の科目を使用する
商品区分別の科目	商品区分ごとに異なる科目を使用する
請求先別商品区分別の科目	請求先・商品区分ごとに異なる科目を使用する
設定対象の商品区分	
商品別の科目	すべての商品で同一の科目を使用する
請求先別商品別の科目	

- ⑤ [伝票設定(仕入)]ページで、仕入伝票・支払伝票の仕訳を作成する単位などを設定します。

仕訳連動初期設定

基本設定 マスター設定 伝票設定(販売) **伝票設定(仕入)** 運用設定

【仕訳伝票作成方法】	仕入伝票	支払伝票
作成単位	集計期間で作成する	明細単位で作成する
部門別の仕訳伝票	分割しない	分割しない

【仕訳伝票基本情報】	仕入伝票	支払伝票
仕訳伝票区分	使用しない	使用しない
仕訳伝票No.指定	会計システムの設定にしたがう	会計システムの設定にしたがう

【仕訳伝票明細情報】	仕入伝票	支払伝票
マイナス金額の明細	マイナス金額で作成する	マイナス金額で作成する
消費税金額の計上	同一明細として計上する	自動計算する
摘要の内容	仕訳伝票作成情報(システム自動)	仕訳伝票作成情報(システム自動)

【仕訳伝票科目】	仕入伝票/支払伝票
支払先別の科目	支払先ごとに異なる科目を使用する
商品区分別の科目	すべての商品区分で同一の科目を使用する
支払先別商品区分別の科目	
設定対象の商品区分	
商品別の科目	すべての商品で同一の科目を使用する
支払先別商品別の科目	
B/S科目の部門	仕入伝票/支払伝票上の部門を使用する
B/S科目の取引先	仕入伝票/支払伝票上の支払先を使用する
税額通知別/課税区分別の税区分	仕入伝票上の申告書計算区分から自動判定する
商品別の税区分	仕入伝票上の申告書計算区分から自動判定する
支払伝票の税区分	支払伝票上の申告書計算区分から自動判定する

参考

設定項目は[伝票設定(販売)]ページとほぼ共通になりますので、4・5ページの「④ [伝票設定(販売)]ページで、売上伝票・入金伝票の仕訳を作成する単位などを設定します。」の内容を置き換えてご参照ください。

- ⑥ [運用設定]ページで、仕訳作成済伝票の修正・削除を許可するかを設定します。

仕訳連動初期設定

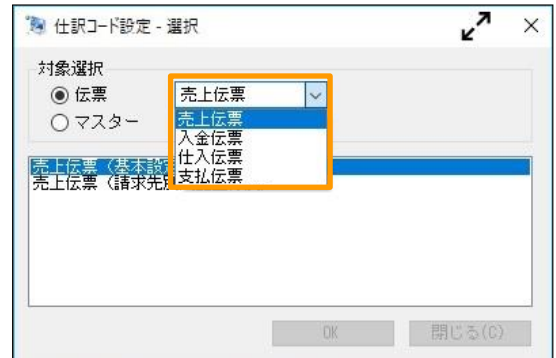
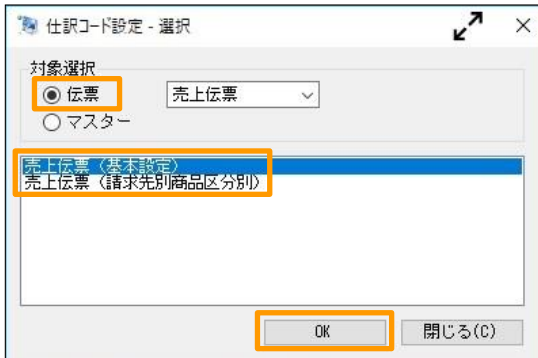
基本設定 マスター設定 伝票設定(販売) 伝票設定(仕入) **運用設定**

仕訳作成済伝票の修正・削除	許可する
	<input type="checkbox"/> 仕訳伝票に影響のない項目だけを修正する
	<input type="checkbox"/> 修正した伝票を再度仕訳伝票作成する

- ⑦ F12[登録]キーを押して、登録します。

作成する仕訳伝票の勘定科目コードなどを設定する

- ① [随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳コード設定]メニューを選択します。
- ② 仕訳伝票の勘定科目を設定する伝票を選択して、[OK]ボタンをクリックします。



参考

上の画像は、売上伝票を選択していて、かつ[仕訳連動初期設定]メニューの[伝票設定(販売)]ページの【仕訳伝票科目】で、商品区分別の科目を「商品区分ごとに異なる科目を使用する」に、請求先別商品区分別の科目を「請求先・商品区分ごとに異なる科目を使用する」に設定している場合のものです。選択している伝票の種類と、[仕訳連動初期設定]メニューでの設定によって、選択できる仕訳コード設定の内容が異なります。

伝票の基本設定は、『勘定奉行シリーズ』と連動するすべての種類の伝票で行ってください。作成しようとする仕訳伝票の中に、勘定科目コードが設定されていない項目が含まれている場合は、仕訳伝票を作成できません。

ただし、基本設定以外の仕訳コード設定は、すべてを設定する必要はありません。必要な箇所だけを設定します。詳細は、下の「参考」をご確認ください。

参考

各伝票の仕訳コード設定の適用には、優先順位があります。詳細については、対象の伝票の[仕訳コード設定]メニューを開いている状態でF1[操作説明]キーを押して、内容をご確認ください。各操作説明ページの下方に記載がございます。(下の画像は、売上伝票の仕訳コード設定の優先順位です。)

参考

○仕訳コードを設定する単位(請求先別・借販会社別・商品別・請求先別商品別・商品区分別・請求先別商品区分別)は、『随時処理』-[仕訳伝票作成]-[仕訳連動初期設定]メニューの[伝票設定(販売)]ページで設定できます。

○仕訳コードは以下の優先順位で適用されます。
個別に仕訳コードが設定されていない請求先・商品区分・商品には、基本設定が適用されます。

1	請求先別商品別設定	「売上伝票(請求先別商品別)」で請求先を個別に指定して設定した仕訳コード
2	商品別設定	「売上伝票(請求先別商品別)」で請求先を個別に指定せずに設定した仕訳コード または、「売上伝票(商品別)」で設定した仕訳コード
3	請求先別商品区分別設定	「売上伝票(請求先別商品区分別)」で請求先を個別に指定して設定した仕訳コード
4	商品区分別設定	「売上伝票(請求先別商品区分別)」で請求先を個別に指定せずに設定した仕訳コード または、「売上伝票(商品区分別)」で設定した仕訳コード
5	借販会社別設定	「売上伝票(借販会社別)」で設定した仕訳コード
6	請求先別設定	「売上伝票(請求先別)」で設定した仕訳コード
7	基本設定	「売上伝票(基本設定)」で設定した仕訳コード

いずれの種類も、最優先の仕訳コードが設定されていない場合は次の順位の仕訳コード設定が適用され、個別の仕訳コードが1つも設定されていなければ、基本設定の仕訳コードが適用されます。そのため、基本設定以外の仕訳コード設定は、必要な部分だけを設定していただければ問題ありません。

③ 『勘定奉行シリーズ』の勘定科目コード・補助科目コードを設定します。

仕訳コード設定[売上傳票 (基本設定)]

③-1

掛売上 現金売上 クレジット ③-2

売上区分	借方		貸方	
	勘定科目	補助科目	勘定科目	補助科目
0 売上	135	売掛金	500	売上高
1 返品	515	売上値引き及び戻り高	135	売掛金
2 値引	515	売上値引き及び戻り高	135	売掛金
3 雑売	135	売掛金	500	売上高
4 雑費	135	売掛金	500	売上高
5 運賃	135	売掛金	500	売上高
7 消費税(外税)	135	売掛金	330	仮受消費税
7 消費税(内税)	500	売上高	330	仮受消費税

参考

上の画像は、「売上傳票(基本設定)」を選択したときの仕訳コード設定画面です。請求先や商品区分などにかかわらず、すべてのパターンで共通の設定をします。

「売上傳票(請求先別商品区分別)」を選択すると、下の画像のように、請求先ごと・商品区分ごとに異なる科目を設定できます。

仕訳コード設定[売上傳票 (請求先別商品区分別)]

個別に請求先を指定する

請求先コード	請求先略称
0001	商事株式会社 支店

区分コード	区分名	【商品種別】
0004	食料品	

掛売上 現金売上 クレジット ③-1 ③-2

売上区分	借方		貸方	
	勘定科目	補助科目	勘定科目	補助科目
0 売上	135	売掛金	500	売上高
	Z01	商事(株)/食料品	Z01	商事(株)/食料品
1 返品	515	売上値引き及び戻り高	135	売掛金
2 値引	515	売上値引き及び戻り高	135	売掛金
3 雑売	135	売掛金	500	売上高
4 雑費	135	売掛金	500	売上高

③-1 いずれの種類の伝票も、伝票区分ごとに勘定科目・補助科目を設定します。

③-2 伝票の明細区分ごとに、勘定科目コード・補助科目コードを設定します。

参考

[仕訳連動初期設定]メニューの[基本設定]ページで連動先情報が設定されていると、Space キーなどで、連動先データの勘定科目コード・補助科目コードの検索が可能です。

③-3 F12[登録]キーを押して、登録します。

④ 再度、[随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳コード設定]メニューを選択し、仕訳伝票の勘定科目を設定するマスターを選択して、[OK]ボタンをクリックします。

参考

「会社銀行」以外の項目は、[仕訳連動初期設定]メニューの[マスター設定]ページで、「使用する」に設定した場合に表示されます。詳細は、3ページの「③ [マスター設定]ページで、仕訳伝票で使用するマスターを設定します。」をご確認ください。

⑤ 『勘定奉行シリーズ』の勘定科目コード・補助科目コードを設定します。

コード	会社銀行名	入金区分/支払区分	勘定科目コード	勘定科目名	補助科目
01	銀行 支店	銀行振込 (入金/支払)	110	当座預金	001
01	銀行 支店	振込手数料 (支払・先方負担)	315	未払金	
01	銀行 支店	振込手数料 (支払・当方負担)	315	未払金	

上の画像は、「会社銀行」を選択したときの仕訳コード設定画面です。

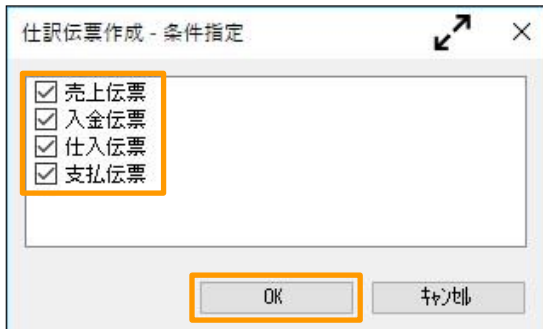


勘定科目コードを設定していない会社銀行の明細は、仕訳伝票を作成できません。そのため、伝票で使用しているすべての会社銀行で、仕訳コードを設定してください。

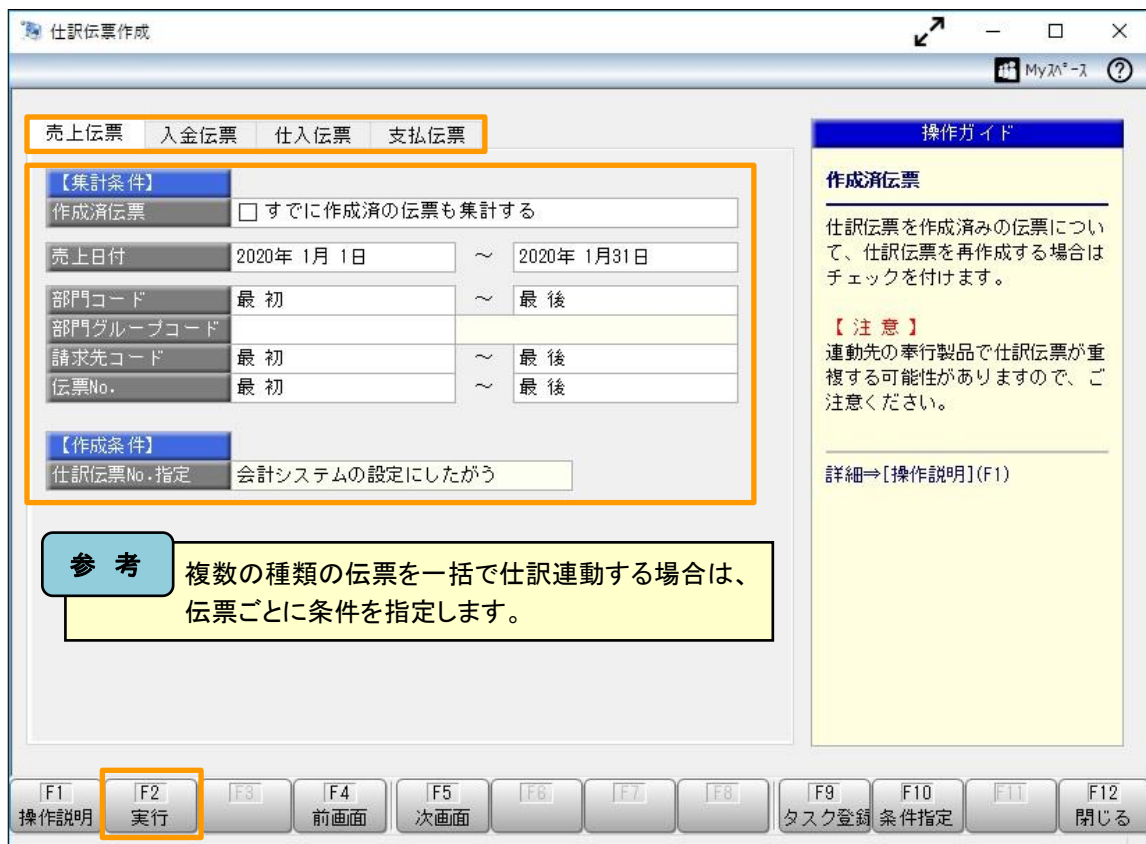
⑥ F12[登録]キーを押して、登録します。

『勘定奉行シリーズ』と連動する仕訳伝票を作成する

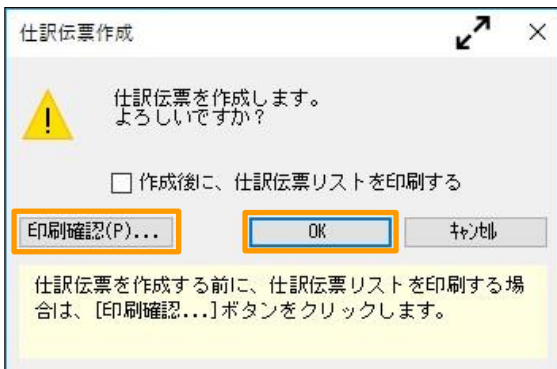
- ① [随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳伝票作成]メニューを選択します。
- ② 仕訳伝票を作成する伝票種類にチェックをつけて、[OK]ボタンをクリックします。



- ③ 伝票ごとに、集計条件や作成条件などの必要な情報を入力して、F2[実行]キーを押します。



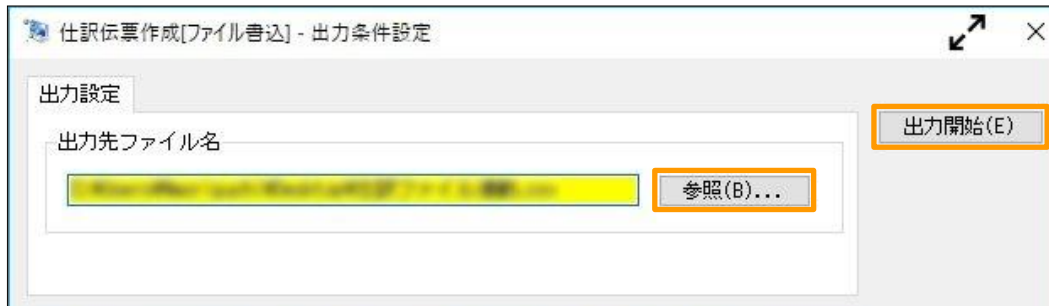
- ④ 仕訳伝票の作成確認のメッセージが表示されます。
ここで、[印刷確認]ボタンをクリックすると、事前に作成される仕訳伝票を確認できます。
問題なければ、[OK]ボタンをクリックします。



⑤ 連動方法により、動作が以下のように異なります。

●ファイル連動の場合

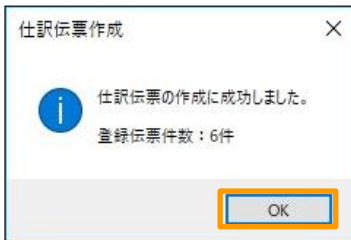
⇒[仕訳伝票作成[ファイル書込] - 出力条件設定]画面が表示されるので、[参照]ボタンをクリックしてファイルの出力先を指定して、[出力開始]ボタンをクリックします。



! 作成された仕訳伝票ファイルは、編集せずにそのまま『勘定奉行シリーズ』で受け入れてください。編集された場合は、動作保証外となります。

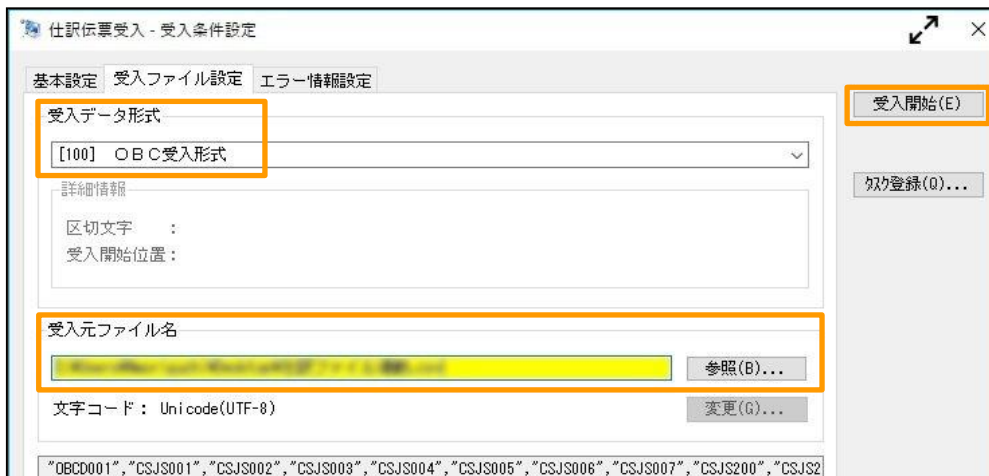
●直接連動の場合

⇒『勘定奉行シリーズ』に登録された伝票の件数を確認して、[OK]ボタンをクリックします。



仕訳伝票ファイルの受け入れ方法 ※ファイル連動の場合

- ① 『勘定奉行シリーズ』で[随時処理]-[奉行連動データ受入]-[仕訳伝票受入]メニューを選択します。
- ② [仕訳伝票受入 - 受入条件設定]画面の[受入ファイル設定]ページで、受入データ形式を「OBC受入形式」に設定し、作成した仕訳伝票ファイルを[参照]ボタンから指定して、[受入開始]ボタンをクリックします。



連動した仕訳伝票の確認方法

- ① 『勘定奉行シリーズ』で[仕訳処理]-[仕訳処理]メニューを選択します。
- ② F8[伝票検索]キーを押します。
- ③ [仕訳処理 - 条件設定]画面で以下の登録区分を選択して、[画面]ボタンをクリックします。
※ 「伝票検索画面の形式」の設定によって、登録区分の選択箇所が異なります。
[仕訳処理]メニューのF3[設定]キーを押して、[仕訳処理 - 設定]画面の[運用設定]ページでご確認ください。

●「伝票検索画面の形式」が「標準形式」の場合

[仕訳処理 - 条件設定]画面の[基本条件]ページで以下の登録区分を選択して、[画面]ボタンをクリックします。

●ファイル連動の場合
⇒「仕訳受入商蔵」を選択します。

●直接連動の場合
⇒「直接連動商蔵」を選択します。

●「伝票検索画面の形式」が「拡張形式」の場合

[仕訳処理 - 条件設定]画面の[登録情報]ページで以下の登録区分を選択して、[画面]ボタンをクリックします。

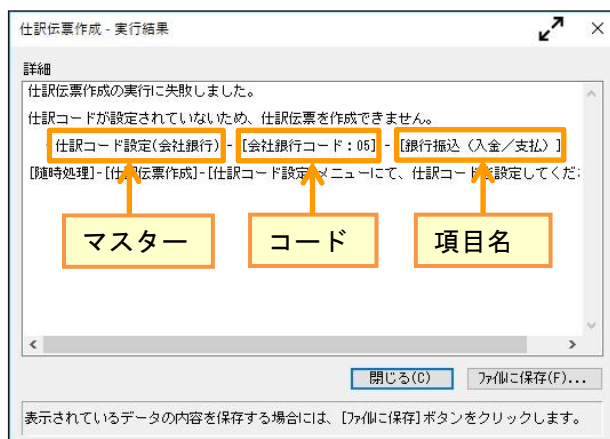
●ファイル連動の場合
⇒「仕訳伝票受入(商蔵奉行)」を選択します。

●直接連動の場合
⇒「直接連動(商蔵奉行)」を選択します。

- ④ 結果画面では、『商蔵奉行シリーズ』で連動した仕訳伝票のみが表示されます。

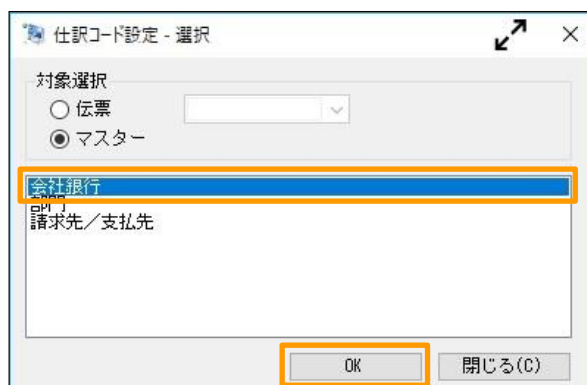
よくあるお問い合わせ

🔍 [仕訳伝票作成]メニューで実行すると、[仕訳伝票作成 - 実行結果]画面で、「仕訳コードが設定されていないため、仕訳伝票を作成できません。」と表示される。



📌 仕訳コードが設定されていない項目があります。
[仕訳伝票作成 - 実行結果]画面の内容をもとに、仕訳伝票で使用する勘定科目コードなどを設定します。

- ① [随時処理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳コード設定]メニューを選択します。
- ② [仕訳伝票作成 - 実行結果]画面に表示されている仕訳コード設定を選択して、[OK]ボタンをクリックします。



- ③ [仕訳伝票作成 - 実行結果]画面に表示されているマスターを出力し、勘定科目コードを設定します。



以上